

## ＜ポイント版＞ ぎふ経済レポート（令和2年11月分）

### 【製造業】生産は持ち直している

- 製造業は、9月の鉱工業生産指数では、プラスチック製品と輸送機械を除く、主な産業の多くで上昇した。ヒアリングにおいては、中国経済のV字回復により輸出量が急伸しているとの声やコロナ前を上回る状況との声があった一方で、先行きの不透明感を警戒する企業もあった。

### 【地場産業】生産の持ち直しの動きが見られる

- 地場産業は、9月の鉱工業生産指数では、家具を除いて、地場産業の多くで上昇となった。ヒアリングにおいては、ネット販売を含む海外向けの輸出や、衛生関連の売上が好調であるとの声が聞かれた一方で、繊維工業では、昨年度と比較して半分以下の売上しかなく、春～夏の時期以上に落ち込んでいるとの声も聞かれた。

### 【設備投資】全体での落ち込みが長期化している

- 設備投資は、10月の金属工作機械受注額について、国内向けで23ヶ月連続、海外向けで2ヶ月ぶり、全体で24ヶ月連続で前年を下回った。ヒアリングにおいては、コロナ禍の状況を勘案して設備投資を様子見しているとする企業があったものの、金融機関からは、一部ではこれまで中止していた設備投資を再開させる動きもみられる、との声もあった。

### 【個人消費】感染症拡大の第三波により今後の消費減退が懸念される

- 個人消費は、小売店の10月の販売額について、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られた前年同月を上回ったものの、ヒアリングにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の第三波の到来により、来客数や売上が想定より伸びなかった、との声もあった。

### 【観光】持ち直しの動きがみられる

- 観光は、新型コロナウイルスの影響により観光地、宿泊施設ともに前年同月を下回ったものの、回復傾向が見られる。宿泊施設からのヒアリングでは、休前日の宿泊はとも多く感じられるようになったとの声や、2月以降のGoTo トラベルの継続を早く打ち出してほしいとの声も聞かれた。

### 【資金繰り】旺盛な資金需要が続くが、足元の借入申込は落ち着きつつある

- 企業の資金繰りは、10月の制度融資実績で、引き続き、件数、金額ともに前年同月比で大きく増加した。金融機関からのヒアリングでは、新型コロナウイルス感染症拡大の第三波による影響は特段耳にしておらず、比較的落ち着いている状況との声があった。

### 【雇用】雇用環境の改善がみられる

- 雇用面は、10月の有効求人倍率は、1.23倍と2ヶ月連続で上昇した。ヒアリングにおいては、新規の人材募集や出向者の受け入れの動きなど、雇用情勢に回復の兆しが見られた。

### 【景気動向】

9月の景気動向指数（一致指数）と10月の中小企業の景況感は、ともに上昇した。